



けいし



<教育目標> 上妻を愛し、夢や希望に向かって、
たくましく生きる子どもの育成

令和3年3月1日

「どんな花も どんな色も 緑の 萌える輝きにはかなわない 『萌』という文字をつくった人は だれかしら 歴史の中で いちばんすてきな人だとさえ 思ってしまう」(平井たえ 詩画集「川」より)



冬の寒さに耐えた木々の枝にも芽が吹きはじめ、梢全体に明るさが増してきたようです。草萌え、山笑う季節も、もう目の前。子ども達の心も躍り出しているようです。

たったひとつの命だから ～この言葉のあとに、あなたなら、何と続けますか？～

手元に『たったひとつの命だから…』(ワンライフプロジェクト編 地湧社)という本があります。『たったひとつの命だから…』のあとに、綴られた言葉を集めた本です。いくつか紹介します。

- たったひとつの命だから 楽しく毎日笑え
- たったひとつの命だから 自分に嘘つかないで、希望のある方に進みたい
- たったひとつの命だから 悔いのない人生を送りたい
- たったひとつの命だから このかけがえのない たった一度の人生を大切に生きよう
- たったひとつの命だから 心通い合う仲間と出合って 日本を作りかえる
- たったひとつの命だから 人のせいにしないで生きていく
- たったひとつの命だから 透明な心を追い求めていきたい



5日(金)は「6年生を送る会」、19日(金)は「卒業式」。上妻小学校をリードし、支えてくれた6年生が巣立つのはもうすぐです。6年生へ向けて送ります。「たったひとつの命だから、自分の夢を追い続けてください!」

3月の主な行事

- 5日(金) 6年生を送る会
- 10日(水)～17日(水) 大掃除週間
- 11日(木)～12日(金) 修学旅行(6年 長崎市)
- 18日(木) 修了式(6年)
- 19日(金) 卒業式(6年)
- 24日(水) 修了式(1～5年)
- ※ 春休み 3月25日(木)～4月5日(月)
- 令和3年度 前期始業式 4月6日(火)
- 入学式 4月8日(木)



<授業参観・卒業式について>

延期をしていました授業参観は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、本年度は実施しないことといたしました。

また、今年の卒業式も、規模を縮小した卒業式になります。



子どもを認めて、ほめて、励ます！

NHKの大河ドラマ『麒麟がくる』が終了しました。

ドラマのクライマックスである「本能寺の変」はどうかと、わくわく、ドキドキしながら見られた方も多いのではないでしょうか。

その『麒麟がくる』の第21話は「決戦！桶狭間」。25,000名もの大軍を率いる今川軍に、織田軍はわずか3000名余りの兵で立ち向かい、桶狭間の地で今川義元を討ち取った話でした。

織田信長が今川義元を討ち取ったのち、加勢に駆けつけた明智光秀と信長が対面します。

信長「勝ったぞ！」

光秀「おめでとうございます。お見事でした。」

信長「ほめてくれるのか。」

光秀「誰もが、ほめぞやしましょう。街道一の弓取り 今川義元を討ち果たされたんです。」

信長「昔、父を裏切った男の首をとって帰ったことがある。父上は、わしをほめなかった。余計なことをするなど叱りつけられた。わしは、何をしてもほめられぬ。子どもの頃から、誰もわしをほめん。母上も。兄弟も。」

光秀「帰蝶（きちょう）様（信長の妻 斎藤道三の娘）はおほめになりましょう。」

信長「帰蝶は何をしてもほめる。いつもほめる。あれは、母親じゃ。また会おう。」

光秀「今川を倒し、次は何をなされますか？」

信長「美濃の国を獲る。美濃は帰蝶の里じゃ。美濃の国をとって帰蝶を喜ばす。」

信長の哀しみ、怒り、喜びが入り交じった姿でした。



ある研究者は、「食べ物やお金と同じように”ほめられる”ことも『報酬（ごほうび）』として脳内で処理されている」ということを発見しました。子どもをほめて育てることの重要性が、脳科学であらためて確認できました。

ごほうびはお菓子やお小遣い、ゲーム機でなくてもよいのです。ほめることが、ごほうびとしてしっかりと子どもの脳に響いています。

ちなみに、本校の学校・家庭・地域の指導理念は、『子どもを認めて、ほめて、励ます』です。

「可愛くば 5つ教えて 3つほめ 2つ叱って よき人とせよ」（二宮尊徳）

上妻小のキラリ ★ 一番星

美点発見！

『上妻小のキラリ★一番星』を紹介します。

Tさん

じょうきゅうせいとおなじぐらい ぞうきんぶきと つくえを はこぶそうじが じょうずです。

川上ひでひこ先生より

Uさん

毎日、すばやくとりかかり、すきまがないように、ていねいに己（おのれ）ぶきをしています。だまって、もくもくとそうじをする姿は、とても良いお手本になっています。ありがとうございます。

荒木ゆかり先生より

Mさん

三かいのろうかをすみずみまではいていました。バケツの水のじゅんぴやかたづけもすすんですることができました。

一年生のよい手本となっています。

益本とよみ先生より

Fさん

チャイムがなるより早く、一番にきていましたね。ほうきではわきながら、困っている下級生がいたら手伝ってくれましたね。

馬場あやこ先生より

Yさん

取りかかりが早く、ふいたり、はいたりしたあと、すぐに机を運んでいました。次に何をするか分かっています。てきぱきとそうじができていました。だまって、もくもくとすばらしいですね。

Oさん

取りかかりが早く、ふいたり、はいたりしたあと、すぐに机を運んでいました。次に何をするか分かっています。てきぱきとそうじができていました。だまって、もくもくとすばらしいですね。

馬場せいこ先生より

「心磨きは掃除から」が合い言葉です！